

2016年7月24日

四国電力株式会社  
取締役社長 佐伯 隼人 殿

## 伊方原発3号機再稼働への抗議文

福島のある過酷事故からはや5年あまりが過ぎ、未だに事故の収束も原因究明さえもなされていない。それにも関わらず昨年夏には川内原発1.2号機、今年初めには高浜原発3、4号機が再稼働され、この7月26日には伊方原発3号機を再稼働しようとしている。

そもそも私達地元住民は、伊方原発建設当初から原発に賛成した覚えは一度もない。再稼働に理解を示した覚えも、同意した覚えもまったくない。一部の人間の同意をもって地元合意の手続きがなされたのはあまりにも暴論であり、民主主義に対する冒瀆である。

だが国と四国電力は権力と金に物を言わせ、ありとあらゆる手段を用い、人の生命を奪うことすら顧みず、強引に伊方原発の建設を強行し稼働し続けてきた。住民の反対の声も、7度にわたる魚の大量死も顧みず稼働し続けてきた。

このような命を軽んじる傲慢さが、今回のような再稼働延期という無様な醜態をさらす結果となるのだ。

ここに集いし私達は、先人達の魂の叫びと、ここに集えなかった仲間達の声と、生きとしいける全ての想いを背負って抗議する。

**四国電力に要求する！伊方原発3号機再稼働撤回！伊方原発全て廃炉！**

私達は放射能に脅かされない生活を勝ち取るまで、断固闘い続けることをここに宣言する。

みんなで止めよう伊方原発！7.24全国集会 参加者一同